

第5回加賀ふるさと検定【初級問題の正解及び解説編】

- 1 洗濯機せんたくきが普及する以前は、盥たらいと（ ）が、洗濯用具せんたくようぐの必需品ひつじゅひんであった。
①洗濯ブラシせんたく ②洗濯棒せんたくぼう ③洗濯板せんたくいた ④洗濯ざる

正解は③です。【正解率99.0%】 学習帳Ⅱ（民俗編）20頁

電気洗濯機が普及する前は、洗濯は手作業で行われました。盥に水を張り、洗濯板を斜めに入れて、その板の上に洗濯物を乗せ、石けんを付けてこす擦ります。洗濯板には凹凸の波状模様が切っており、汚れは意外とよく落ちたようです。

- 2 西洋型せいようがたの履物はきものが普及するまでは、旅をしたり、外仕事をするときには主に（ ）を履いた。
①ぞうり ②ズック ③わらじ ④革靴かわぐつ

正解は③です。【正解率77.8%】 学習帳Ⅱ（民俗）22頁

ゴム製の靴やぞうり等の履き物が普及するまでは、わら製品の履き物や木製品の下駄や足駄が使われました。ぞうりは、今のスリッパのように足に引っかけて履きました。わらじは、足に縄でくくりしっかりと固定し、抜けにくくなっていました。畑や山の仕事や旅をして長く歩くときには、わらじが実用的でした。

- 3 今は電気コンロやガスコンロなどで煮炊きにたきをするが、それ以前は（ ）に鍋なべや釜かまをかけて、下から薪まきやほえなど等をくべて火をたき、加熱した。
①ホットプレート ②かまど ③たき火 ④自在かぎじざい

正解は②です。【正解率96.6%】 学習帳Ⅱ（民俗編）23頁

昭和30年代頃まで、各民家の火を焚く場所としては、囲炉裏や竈（かまど）がありました。部屋の暖をとったり、家族が集まってくつろぐ時は囲炉裏を囲み、天井から下がった自在鉤に茶釜や鍋等をかけて煮炊きしました。一方、ご飯を炊いたり鍋の煮物をしたりする時は熱効率の良い竈を使用しました。燃料には薪やほえと呼ばれる細い枝やこっさと呼ばれる松葉を使いました。

- 4 当地域で使われてきた方言ほうげんの（ ）は、素早くて抜け目のない、賢い様子かしこいようすのことである。 ①はかいく ②べんこな ③はしかい ④あせくらしい

正解は③です。【正解率72.0%】 学習帳Ⅱ（民俗編）36頁

当地では、素早い様子を「はしかい」とか「はばしい」といいました。仕事上手で速くできる事も「はばしい」といいました。これとよく似た方言で、「てなわん」という言葉もあります。この「てなわん」は、抜け目ない、賢いこと、また、誰もまねできないような器用ことを指していいました。

- 5 加賀の人々は、古来から親しんできた（ ）・鞍掛山くらかけやま・富士写ヶ岳ふじしゃがだけの3つの山を「江沼三山」と呼んできた。
①錦城山きんじょうざん ②白山はくさん ③大日山だいにちざん ④水無山みずなしやま

正解は③です。【正解率79.7%】 学習帳Ⅱ（自然編）9頁

加賀市で最も高い山、大日山、富士山のような姿をしている富士写ヶ岳、2つのコブがあり、馬の鞍の形に似ている鞍掛山、これら3つの山は「江沼三山」と呼ばれ、古来から当地の人々に親しまれてきました。鞍掛山は、独特な形をしているために海上を航行する船の目印にもなっており、舟見山の別名を持っています。

- 6 山中から山代地区へ突き出した丘陵地（台地）の東側を流れる（ ）は、大日山を源流としている。
- ① 動橋川 いぶりはし ② 梯川 かけはし ③ 奥野谷川 おくのや ④ 大聖寺川 だいしょうじ

正解は①です。【正解率40.1%】 学習帳Ⅱ（自然編）9頁

加賀市の山間部、山中から山代にかけての丘陵地は、大日山を頂点として、日本海に向けて流れる大河川と平野で形成されています。その東側は、塔尾から二子塚、動橋を通り、最下流で柴山瀉に注ぐ動橋川が、その西側には、山中温泉、保賀、上河崎、大聖寺を通して、塩屋から日本海に注ぐ大聖寺川の2つの大きな川が流れています。

- 7 柴山瀉は今江瀉、木場瀉とともに、（ ）のひとつであるが、昭和29年の干拓工事で、その3分の2が埋められた。
- ① 加賀三湖 かがさんこ ② 江沼四湖 えぬまよんこ ③ 能美四湖 のみよんこ ④ 小松三湖 こまつさんこ

正解は①です。【正解率87.0%】 学習帳Ⅱ（自然編）10頁

かつて海や入り江であった部分が海岸砂丘と河川の氾濫によって閉じ込められ、沼地や平野となり、土や砂が堆積せずに残った部分を「海跡湖」と言います。加賀市から小松市にかけての柴山瀉、木場瀉、今江瀉の3つの湖もこの海跡湖で、古来より「加賀三湖」と称し、これらの湖や白山を一望する三湖台で旅人が休息したといわれています。

- 8 当地で古くからつくられてきた「ぜいたく煮」あるいは「いなか煮」と呼ばれている郷土料理は（ ）を甘く煮込んだものである。
- ① サツマイモ ② カモリ ③ ゼンマイ ④ タクワン

正解は④です。【正解率51.7%】 学習帳Ⅱ（民俗編）33頁

ひと冬を越した「たくわん」の漬物は、だんだん酸っぱくなってきます。それを水につけて塩出しをして、甘く煮込んだものが「ぜいたく煮」あるいは「いなか煮」「ふるさと煮」などと呼ばれている料理です。漬物作業から煮物にするまでの手間隙を考えれば大変贅沢な料理だといえます。現在も、スーパーなどでパックに入って売られています。

- 9 近年、山代温泉大和町地内でも（ ）が目撃されているが、一般に、秋、木の実が不作になると人里まで降りてくると言われている。
- ① 鴨 かも ② リス ③ 熊 くま ④ ウサギ うさぎ

正解は③です。【正解率83.5%】 学習帳Ⅱ（自然編）13頁

ブナやミズナラ、クリの実など、クマのエサとなる木の実が不作の年は、冬眠前の熊がエサを求めて活発に行動し、人里まで降りてくることがあります。こうした年は、熊のエサとなる生ゴミや収穫しない農作物などを放置し

ないよう特に注意しなければなりません。

- 10 加賀市の植生のほとんどはヤブツバキクラス域おおに覆われており、()など一年中葉の落ちない常緑広葉樹じょうりょくこうようじゆで構成されている。
- ①カキ ②タブ ③クリ ④カエデ

正解は②です。【正解率41.5%】 学習帳Ⅱ（自然編）16頁

加賀市の植生は、そのほとんどは常緑広葉樹林帯の「ヤブツバキクラス域」に所属しています。このヤブツバキクラス域では、里山が広がり、冬でも落葉しないタブノキ、スダジイ、ヤブツバキなどの樹木が中心です。こうした里山よりも標高が高く、あまり人が立ち入らない山間部などは「ブナクラス域」と称し、落葉広葉樹で覆われています。

- 11 大聖寺藩士()は、大坂の緒方洪庵おがたこうあんが主宰する適々齋塾てきてきさいじゆくに学び、第7代塾頭じゆくとうになった。その後、金沢病院大聖寺分院そうせつの創設に尽力した。
- ①渡辺華山わたなべかざん ②大田錦城おおたきんじょう ③渡辺卯三郎わたなべ うさぶろう ④梅田五月うめださつき

正解は③です。【正解率62.8%】 学習帳Ⅰ（歴史編）47頁

緒方洪庵は、日本の近代医学の祖といわれ、大坂に適塾（適々齋塾）を開き、多くの人材を育てました。大聖寺藩士の渡辺卯三郎も、この適塾に入門し、福沢諭吉や大村益次郎などと共に塾頭になりました。適塾の門下生およそ3千人の中で、塾頭となった人物は12人程度しかいませんでした。卯三郎は残念ながら家庭の事情で国に帰りましたが、大聖寺においては病院を開設する等、郷土医療の近代化に貢献しました。

- 12 大聖寺藩士()は、明治初年、偽金づくりが発覚した際、その処理に奔走して藩の難局なんきよくを救ったが、彼の最も大きな業績ぎようせきは琵琶湖に汽船を就航させたことである。①前田利啓としか ②石川嶂たかし ③市橋波江なみえ ④飛鳥井清あすかい

正解は②です。【正解率58.9%】 学習帳Ⅰ（歴史編）51頁

明治初期のパトロン事件（偽金づくり）の後始末や琵琶湖に蒸気船を走らせるなど、明治初年、大聖寺藩の中でひととき目立った動きをした石川嶂でしたが、彼がこのような活躍ができたのは、幅広い人脈と日本の近代化のために何をなすべきかというしっかりとした展望（考え）を持っていたからだといわれています。

- 13 大聖寺出身の病理学者桂田富士郎びょうりがくしゃかつらだ ふじろうは、明治37年、風土病の原因ともなっていた()を発見し世界的に注目された。
- ①赤痢菌せきりきん ②ジャアスターゼ ③日本住血吸虫にほんじゅうけつきゅうちゅう ④蚤のみ

正解は③です。【正解率72.5%】 学習帳Ⅲ（人物編）29頁

大聖寺出身の医学者、桂田富士郎は金沢医学校を卒業後、東京大学の病理学教室に学んだのち、岡山の第三高等学校医学部（のちの岡山医学専門学校）の教授となりました。その後、ネコの肝臓から日本住血吸虫を世界で最初に発見しました。その功績により帝国学士院賞受賞するなど、病理学者として広く知られるようになりました。

- 14 大聖寺生まれの()は、5才の時の絵が加賀藩9代藩主前田重教しげみちに認められ、加賀藩のお抱え絵師かかええしとなった。
- ①小原文英おはらぶんえい ②北大路魯山人ろさんじん ③佐々木泉景せんけい ④芭蕉ばしょう

正解は③です。【正解率59.9%】 学習帳Ⅲ（人物編）34頁

大聖寺出身の絵師、佐々木泉景は、5歳のときに、加賀藩10代藩主前田重教に絵を認められと伝えられています。その後、京都へ出て鶴沢探索、探泉の門に入り、禁裏御用の屏風などに画筆を振るいました。享和2年（1802）法橋位に叙せられ大聖寺に帰りました。文化8年（1811）金沢に居を移し、のち加賀藩より7人扶持を受け、画家として最高の法眼位を受けました。大聖寺下屋敷の実性院に代表作「紙本金地着色鹿図屏風」所蔵されています。

15 橋立の北前船主（ ）は、明治22年、拠点^{きよてん}を函館^{はこだて}に移し北洋漁業^{ほくようぎょぎょう}に転身^{てんしん}し、その後、区会議員^{くわいぎいん}や函館銀行^{はこだてぎんぎん}の取締役^{とくしやく}として活躍^{かつやく}し北海道経済界^{ほくどうけいぎかい}の重鎮^{じゅうちん}となった。
①廣海^{ひろうみ}二三郎^{にさぶろう} ②西出^{にしで}孫^{まご}左衛門^{さえもん} ③錢屋^{ぜにや}五兵衛^{ごへい} ④新家^{あらいえく}熊吉^{まきち}

正解は②です。【正解率63.8%】 学習帳Ⅰ（歴史編）43頁 学習帳Ⅲ（人物編）32頁

明治期に入って、汽車や通信の発達によって近代化が進んでくると、北前船から汽船に転換したり、廃業する船主が増えてきました。北洋漁業へ転身する船主もおり、西出孫左衛門はその代表例といえます。孫左衛門は漁業だけでなく、函館の区会議員や商業会議所特別議員、函館銀行の取締役としても活躍し、北海道経済界の重鎮となりました。

16 現在、加賀市では、縄文^{じょうもん}・弥生^{やよい}・古墳^{こふん}時代の埋蔵文化財^{まいぞうぶんかざい}が、約（ ）ヶ所確認されてり、県内有数の遺跡^{いせき}の密集地^{みつしゅうち}となっている。
①550 ②650 ③750 ④850

正解は④です。【正解率81.6%】 学習帳Ⅰ（歴史編）8頁

加賀市内では、埋蔵文化財が約850ヶ所余り確認されていて、県内有数の遺跡の密集地となっています。古代遺跡が多いということは、この地域が、水に恵まれた自然豊かなところで、とても住みやすい土地であったことを示しています。

17 （ ）は、加賀市では最も古い旧石器時代の遺跡^{いせき}で、玉髓^{ぎよくずい}や珪質岩^{けいしつがん}の硬い石材^{そうき}で作られた石刃^{そうき}や搔器^{そうき}などが見つかっている。
①柴山^{しばやま}貝塚^{かいづか}遺跡^{いせき} ②新堀^{しんぼり}川^{かわ}遺跡^{いせき} ③宮地^{みやじ}向山^{むかやま}遺跡^{いせき} ④保賀^{ほうが}遺跡^{いせき}

正解は③です。【正解率71.5%】 学習帳Ⅰ（歴史編）8頁

宮地向山遺跡は、加賀市内で最も古い人類の痕跡を示すものとして、宮地町の琵琶ヶ池の近くで見つかった旧石器時代の遺跡で、玉髓や珪質岩のきわめて硬い石材で作られた石刃や搔器などが見つかっています。

18 「北陸^{とろ}の登呂^{とろ}遺跡^{いせき}」とも称される（ ）では、貴重な木製品^{きちよう}が多数発見され、また、出土した土器^{さんいん}の形から山陰文化圏^{さんいん}との結びつきが極めて強いことが分かった。
①猫橋^{ねこばし}遺跡^{いせき} ②柴山^{しばやま}出村^{いでむら}遺跡^{いせき} ③鹿島^{かしま}の森^{のもり}遺跡^{いせき} ④弓波^{ゆみなみ}遺跡^{いせき}

正解は①です。【正解率72.9%】 学習帳Ⅰ（歴史編）8頁

猫橋遺跡から出土した土器は、「猫橋式」と呼ばれる標式土器となっています。出土土器のうち、特に壺・瓶の複合状になった口縁部に巡らされた平行凹線が猫橋の特色で、畿内・中国・四国地方の影響を受けているが、猫橋の瓶形土器の口縁部の凹線は島根県出雲市知井宮遺跡の出土土器と類似しており、山陰地方との結びつきが極めて強いと判断されます。

19 黒瀬・南郷古墳群のうち、吸坂イカリ山13号墳は全長（ ）mを越す市内最大の前方後円墳で、江沼郡全体を治めた豪族の墳墓と推察されている。

①30 ②50 ③70 ④150

正解は③です。【正解率41.4%】 学習帳 I（歴史編）11頁

南郷町から吸坂町、上河崎町にかけての丘陵地に約85基の古墳が密集し、黒瀬・南郷古墳群と呼ばれています。そのうち吸坂丸山支群には全町60mの市内最大の前方後円墳である吸坂A3号墳や全長70mを越す市内最大の前方後円墳である吸坂イカリ山13号墳など、大聖寺川水系を支配し、江沼郡全体の首長であった豪族の墳墓が築かれています。

20 律令体制下の北陸道が通る江沼郡域には（ ）と潮津駅の2駅が置かれ、その中継機関として「駅」が設置された。

①三尾駅 ②朝倉駅 ③大聖寺駅 ④動橋駅

正解は②です。【正解率63.8%】 学習帳 I（歴史編）14頁

古代官道である「北陸道」が整備され、越前から加賀に入ると、先ず「朝倉駅」に、その次に「潮津駅」が設置され、小松の安宅へと抜けて行きました。その中継地には、都と地方の連絡にあたる駅使のために30里（現4里、約16km）ごとに駅家を設けて駅馬を常備しました。北陸道は小路のため駅馬の常備数は5匹でした。

21 平安後期の書である『白山之記』には、江沼郡域における白山信仰の拠点として、柏野寺・温泉寺・（ ）・小野坂寺・大聖寺の5つの寺院が建立されたことが記載されている。

①愛染寺 ②栄谷寺 ③温谷寺 ④極楽寺

正解は④です。【正解率58.0%】 学習帳 I（歴史編）15頁

平安後期、長寛元年（1163）、白山宮長吏隆巖の遍になる『白山之記』には、江沼郡内の柏野寺・温泉寺・極楽寺・小野坂寺・大聖寺の5つの寺院を「白山五院」とし、その外「白山三箇寺」として那谷寺・温谷寺・栄谷寺があり、当時、江沼郡は白山信仰の中心地となっていました。

22 文永10年（ ）の地頭であった大見実泰は、領家徳大寺家の預所との間で、土地を折半するという下地中分を行い、庄園の半分を自分の領土とした。

①福田荘 ②熊坂荘 ③山代荘 ④右荘

正解は②です。【正解率47.8%】 学習帳 I（歴史編）19頁

弘安10年（1287）10月の関東下知状によると、熊坂荘では、文永10年（1273）2月、当時の領家である徳大寺家派遣の預所と、地頭大見実泰との間で続いていた相論（係争）が、領家と地頭とで下地を「中分」（折半）するという条件で、「和与」（示談）となり、幕府もこの〈和与〉を承認したと伝えています。

23 鎌倉時代、江沼郡の北野社領福田庄の地頭として土着した狩野氏は、領内の総鎮守である（ ）の神主となり、江沼郡で最も有力な国人（土豪）にまで成長した。

①菅生社 ②忌浪社 ③服部社 ④白山社

正解は①です。【正解率 70.0%】 学習帳 I (歴史編) 19 頁

狩野氏は伊豆国田方郡狩野荘を本拠とする藤原姓狩野・工藤一党の流れをくむ一族で、「承久の乱」後、新補地頭として福田荘に入部・土着し、弘安 10 年 (1287) の関東下知状によれば、狩野忠広が荘内の菅生社に対して領有権をもとことが、すでに寛元元年 (1243) の関東下知状によって確認されています。以後、狩野氏は室町時代末期まで神主職を世襲することとなります。

24 弘治元年、越前えちぜんの () が一向一揆いっこういっきを潰滅かいめつさせようと、加賀たけがへ大挙して侵入し、以後 10 年にわたる加越抗争が始まった。

①柴田勝家しばたかついえ ②富樫政親とがしまさちか ③朝倉宗滴あさくらそうてき ④本多成重ほんだなりしげ

正解は③です。【正解率 69.6%】 学習帳 I (歴史編) 26 頁

弘治元年 (1555)、越前の朝倉宗滴が一向一揆を潰滅させようと加賀へ大挙して侵入しました。これに対して、南郷城の黒瀬掃部丞、藤丸新介など江沼郡の一揆勢は総力をあげて朝倉勢を阻止しようとしたましたが敗北。ところが総大将朝倉宗滴が急に発病し、越前に引き上げたことで、事なきを得ました。

25 明治 4 年 7 月、廃藩置県はいはんちけんにより、「大聖寺県」が誕生したが、() ヶ月後には金沢県に合併された。 ① 4 ② 6 ③ 8 ④ 10

正解は①です。【正解率 78.7%】 学習帳 I (歴史編) 50 頁

明治 4 年 7 月に、明治新政府の廃藩置県により、大聖寺県が誕生しました。しかし、この年の 11 月には、金沢県に合併されたので、大聖寺県が在ったのは、僅か 4 ヶ月のことでした。なお、金沢県も明治 5 年 2 月には石川県と改称したので、これ以降、当地は石川県江沼郡となりました。

26 悉曇学しつたんを学び、わが国の 50 音字の配列に大きな影響えいきょうを与えた () は、山代温泉の温泉寺薬王院やくおういんの僧そうである。

①空海くうかい ②最澄さいしょう ③延昌えんしょう ④明覚みょうかく

正解は④です。【正解率 86.5%】 学習帳 III (人物編) 48 頁

明覚は、天台宗延暦寺で音韻学を学び、のち加賀山代温泉の温泉寺に隠棲して「温泉房」と号し、「加州隠者」と称しました。悉曇学や梵字の発音などを研究し、我が国の 50 音字の配列に大きな影響を与えました。現在、薬王院境内にある国指定重要文化財の石造五輪塔は、その供養塔と伝えます。

27 寿永 2 年、篠原しのはらの合戦で木曾義仲軍きそよしなかの手塚太郎光盛てづかのたろうみつもりに討たれた () は、白髪を黒く染めて参戦さんせんしたという伝説でんせつがある。

①斎藤別当実盛さいとうべつとうさねもり ②比企藤内朝宗ひきとうないともむね ③林六郎光明はやしろくろうみつあき ④今井四郎兼平いまいしろうかねひら

正解は①です。【正解率 85.0%】 学習帳 I (歴史編) 18 頁

斎藤実盛は越前出身で武蔵国長井荘に住し、当初は源義朝に仕えていましたが、平治の乱の後には平家に属していました。寿永 2 年木曾義仲追討のために北国に向かい、加賀の篠原で手塚光盛に討たれました。この時、老武者とあなどられることを恥とし、白髪を黒く染めて参戦しましたが、義仲の家来が討ち取った首を池で洗うと、黒髪はたちまち白髪に変わったといひます。義仲はそれが命の恩人実盛の首と分かり、涙を流したと伝えられています。

28 山田光教寺は、文明 18 年頃に、蓮如の 4 男（ ）が江沼郡の門徒たちの願
いにより入寺した寺で、「加州三ヶ寺」の一つとして一向一揆を統制した。
①道元 ②日蓮 ③蓮誓 ④一遍

正解は③です。【正解率 86.5%】 学習帳 I (歴史編) 25 頁

山田光教寺の成立は必ずしも明確ではない。山田光教寺の名跡を継承した金沢光教寺の由緒書によれば、文明 3 年から同 7 年の間に山田に一寺を開き、同 7 年以降のある時期に蓮誓が入ったことになるが、『六日講四講并所々御書』(龍谷大学蔵)所収の六日講宛御書の消息から文明 18 年にすでに成立していた光教寺に蓮誓が江沼軍中より取り立てられたと考えられる。

29 宝永 6 年、大聖寺 3 代藩主前田利直の御休憩所として建てられた「長流亭」の
屋根は（ ）である。
①瓦葺き ②柿葺き ③藁葺き ④茅葺き

正解は②です。【正解率 43.0%】 学習帳 II (指定文化財編) 38 頁

江沼神社境内に建つ、国の重要有形文化財である「長流亭」の屋根は柿葺きとなっています。柿葺きは、厚さ 3mm 程度に薄くはいだ板で葺いた屋根で材料は榎・檜・栗などを使用しました。古くから寺院や貴族の住宅などでよく用いられ、京都の金閣寺や銀閣寺、桂離宮の書院なども柿葺きです。

30 大聖寺の豪商（ ）は、文政 6 年(1823)、九谷焼を再興しようと、現
在の山中温泉九谷町の古九谷窯跡のすぐ傍らで、新たな窯を築いた。
①豊田伝右衛門 ②後藤才次郎 ③田村権左右衛門 ④飯田屋八郎右衛門

正解は①です。【正解率 33.8%】 学習帳 I (歴史編) 41 頁

大聖寺の有力町人であった吉田屋は、代々大聖寺の豪商として知られ、大聖寺藩に多額の献金をし、名字帯刀を許され、豊田の姓を賜っていました。特に、四代 伝右衛門は、かつて素晴らしい焼物を焼いていた古九谷を復活させたいと、文政 6 年(1823)に九谷の聖地である、山中温泉の奥、九谷古窯跡の横に窯をつくりました。この時、彼は 72 歳でした。しかしながら、交通の利便性の悪さなどから文政 9 年(1826 年)には山代村の越中谷に移窯しました。

31 大聖寺城主溝口秀勝は、慶長 3 年(1598) 4 月に越前北庄城主堀秀治の越後(新
潟県)春日山への移封に伴い、同国()に移動した。
①本庄 ②高田 ③新発田 ④糸魚川

正解は③です。【正解率 48.3%】 学習帳 I (歴史編) 30 頁

越前北庄城主堀秀治(丹羽長秀の後任、堀秀政の子)は、慶長 3 年(1598) 4 月に豊臣秀吉の命により越後(新潟県)春日山へ移封されました。この移封に伴い、堀秀治と与力関係にあった大聖寺城主溝口秀勝は同新発田に、小松城主村上頼勝は同本庄(現村上市)にそれぞれ移動しました。なお、この移動は同年正月の越後春日山城主上杉景勝の会津(福島県)移封に伴うものでした。

32 慶長5年、大聖寺城主の山口玄蕃宗永父子は()の軍勢で、25,000人の大軍を率いる金沢城主前田利長と戦い、僅か1日で敗戦し大聖寺城内で自決した。
 ①600人 ②1,200人 ③4,500人 ④12,000人

正解は②です。【正解率 46.9%】 学習帳 I (歴史編) 31 頁

関ヶ原の戦いで東軍(徳川家康側)に与した金沢城主前田利長は、慶長5年(1600)8月3日に2万5000人の大軍をもって大聖寺城主山口玄蕃宗永父子の居城に攻め込みました。この大聖寺合戦では、1200人余の山口軍が僅か1日で敗戦し、800人余の家臣が討ち死にしました。利長軍の中では、鐘ヶ丸の戦いで長連龍の家臣が多く戦死しました。その家臣の墓は、いまま錦城中学校前の住宅地に「四墓」として残っています。

33 大聖寺藩前田家の菩提寺である()には歴代藩主の位牌が祀られ、また、その裏山には、初代から14代までの歴代藩主の墓が建っている。
 ①本光寺 ②全昌寺 ③慶徳寺 ④実性院

正解は④です。【正解率 74.4%】 学習帳 I (歴史編) 35 頁

大聖寺の南はずれ、下屋敷から神明町にかけての一带は、山ノ下寺院群と称し、禅宗・浄土宗・日蓮宗の各派の寺院が並んでいます。その最も南側に位置する実性院は大聖寺前田家の菩提寺となっています。寺の後ろの石段を登ったところには、初代から14代までの歴代藩主すべての墓が並んでいます。

34 天正3年、長篠の合戦に勝利した織田信長は、その後、越前・加賀に侵入し北陸を平定したため、およそ()年続いた一向一揆の支配が終焉した。
 ①50 ②100 ③150 ④200

正解は②です。【正解率 50.7%】 学習帳 I (歴史編) 27 頁

天正3年(1575)長篠の合戦で武田軍を破った織田信長は、北陸を平定するために越前に侵入しました。羽柴秀吉や丹羽長秀、柴田勝家らの織田軍の先鋒は、ついには加賀へ討ち入り、大聖寺、敷地、山中の各城を攻め落とし、江沼郡を占領しました。その後、能美の一揆勢も破って手取川まで進出しました。ここに、江沼・能美の両郡は、百年近くに及んだ一向一揆・本願寺勢の支配から離れ、新たに織田信長の占領下に入りました。

35 大聖寺新田1万石の藩祖()は、宝永6年2月に上野寛永寺で行われた將軍徳川綱吉の法会において、御馳走役の大和柳本藩主織田秀親(監物)を殺害した。
 ①前田利家 ②前田利治 ③前田利常 ④前田利昌

正解は④です。【正解率 42.0%】 学習帳 I (歴史編) 38 頁

大聖寺新田藩祖前田利昌(3代利直の弟)は、宝永6年(1709)2月に上野寛永寺で行われた5代將軍徳川綱吉の法会において、他藩の4人とともに朝廷の使者をもてなす御馳走役を命じられました。ところが、利昌はこの法会が行われた2月16日に乱心し、同寺の顕性院で大和柳本藩主の織田秀親(監物)を殺害しました。そのため、利昌は同月18日に切腹となり、大聖寺新田藩も廃藩となりました。

36 大聖寺藩の十村には、十村組を有する組付十村と、それらを監視する（ ）の2種があった。
 ①目付十村 ②脇指十村 ③苗字十村 ④横目十村

正解は①です。【正解率 65.7%】 学習帳 I (歴史編) 35 頁

大聖寺藩の十村(大庄屋)には、十村組を有する組付十村と、それを監視する目付十村(手振十村)の2種がありました。組付十村は役料として鋤役米が、目付十村は御切米が支給されました。鋤役米は15~60歳の男子から米2升を徴収したものです。十村は十村代官として租米・春秋夫銀・小物成銀・郡打銀などを徴収し、それぞれ手数料を得ました。

37 大聖寺藩主が参勤交代で下街道を通るときは、金沢城へ出向き、藩主や重臣に挨拶すると共に、宝円寺や（ ）を参詣した。
 ①芳春院 ②松月寺 ③長国寺 ④天徳院

正解は④です。【正解率 62.8%】 学習帳 I (歴史編) 36 頁

大聖寺藩主の参勤交代には、金沢方面へ向かう中山道経路の下街道(131里)と福井方面へ向かう中山道経路の上街道(148里)、東海道経路の上街道(139里)の3コースがありました。下街道は距離が短いこと、全行程のうち加賀藩領が4分の1を占めていたことから最も多く利用されました。大聖寺藩主は下街道を利用したとき、必ず金沢城下の旅籠に宿泊して、金沢城へ出向き重臣に挨拶するとともに宝円寺や天徳院を参詣しました。

38 享和3年6月、伊能忠敬ら測量隊8人は、大聖寺藩領の沿岸を測量するために、（ ）の板屋や松屋、片野村の肝煎宅、橋立村の因随寺などに宿泊した。
 ①片山津 ②大聖寺 ③山代 ④山中

正解は②です。【正解率 31.9%】 学習帳 I (歴史編) 39 頁

伊能忠敬は享和3年(1803)2月25日に江戸を出立し、東海・北陸・佐渡を測量して、10月7日に江戸へ帰着するという第4次測量を行いました。忠敬ら測量隊8人は、同年6月24日に吉崎(本願寺かけ所泊)から大聖寺町に入り、同日に本町の板屋泊と松屋泊、25日に片野村の肝煎泊、26日に橋立村の因随寺(現福井別院橋立支院)泊をもって大聖寺藩領の海岸部を測量しました。

39 大聖寺藩主9代前田利之は、文政4年12月に加賀藩主12代前田斉広の願書により江戸幕府から（ ）万石の待遇が公認された。
 ①4 ②7 ③10 ④100

正解は③です。【正解率 59.9%】 学習帳 I (歴史編) 39 頁

大聖寺藩主9代前田利之は、文政4年(1821)12月に加賀藩主12代前田斉広の願書により幕府から10万石の待遇が公認されました。10万石の内訳は本高7万石・新田高1万石に、毎年、本藩から支給される米2万俵を加えたものです。しかし、幕府の朱印状は8万石で、本藩の支給米も毎年金300両にすぎませんでした。

40 元禄2年、松尾芭蕉は「奥の細道」の旅の途中、山中温泉に逗留した。このとき、芭蕉が宿泊した（ ）の当主久米之助に与えた掛軸真蹟が現在も残されている。
 ①越後屋 ②山下屋 ③泉屋 ④柿屋

正解は③です。【正解率 74.9%】 学習帳 I (歴史編) 45 頁

松尾芭蕉は、元禄 2 年 (1689) 7 月 (新暦 9 月) に「奥の細道」の旅の途中、山中温泉の湯宿泉屋に 8 日間 (7 月 27 日～8 月 5 日) 逗留しました。このとき、芭蕉は泉屋の当主久米助 (当寺 14 歳) に自号「桃青」の一字をとった「桃妖」の号とともに、「わせの香や 分入る右は 有磯海」と「やまなかや 菊はたおらじ ゆのにはい」の 2 句を 1 紙に記入した真蹟を与えています。

41 かわばたおちん 川端御亭 (現長 ちようりゆうてい 流亭) は、江戸前期の茶人として知られる () の建築 けんちく
いしろう 意匠を採り入れた茶席図 ちゃせきず をもとに建造された可能性 けんぞう が指摘 してき されている。
① ふるたおりべ 古田織部 ② やまだそうへん 山田宗偏 ③ ほんあみこうえつ 本阿弥光悦 ④ こぼりえんしゅう 小堀遠州

正解は④です。【正解率 32.9%】 学習帳 I (歴史編) 35 頁

家老の村井主殿は、宝永 6 年 (1709) に大聖寺藩 3 代前田利直の意を受けて、小堀遠州作成の茶席図をもとに川端御亭 (現長流亭) を建造したといわれています。侘びと雅が融合した大胆な意匠と細部にまで入念に施された装飾は、江戸期の加賀・大聖寺両藩の文化水準と工芸技術の高さを今に伝えるものとして、高い評価を得ています。

42 大聖寺藩は城を築くことが認められず、現在の () が建っている場所 はんていやしき あたりに藩邸屋敷 た を建てた。
① 錦城小学校 ② 大聖寺地区会館 ③ かがせいじょうこうとうがっこう 加賀聖城高等学校 ④ 九谷焼美術館

正解は①です。【正解率 81.6%】 学習帳 I (歴史編) 32 頁

藩祖利治は廃城となった大聖寺城に代わり、大聖寺川・熊坂川を堀として、錦城山の麓に藩邸を建てました。その場所は、ちょうど現在の錦城小学校の建物が建つ場所になります。大聖寺藩は十萬石 (当所は七萬石) の格式をもっており、本来であればひとつの「城」をもっているとは思っていませんが、加賀百萬石の支藩ということで、一国一城令により、城を築くことが認められなかったのです。

43 大聖寺関所 さくもん の柵門は、明治 2 年に関所が廃止されたとき、家老生駒一彦 いこまかずひこ の口利き くちき で山の下寺院群 けいだい の一つである () の境内に移され現在に至っている。
① いおう 医王寺 ② そうじゅ 宗寿寺 ③ じつしょういん 実性院 ④ おんせんじ 温泉寺

正解は②です。【正解率 56.5%】 学習帳 II (指定文化財編) 56 頁

大聖寺関所は、寛永 16 年 (1639) の大聖寺藩創設以前に加賀藩によって大聖寺城下町の西端 (現在の大聖寺関町) に設置されていました。藩創設後は大聖寺藩が関所を管理しました。この柵門は明治 2 年 (1869) に関所が廃止されたとき、家老生駒一彦 いこまかずひこ の口利き くちき で宗寿寺の境内に移されました。現在は、柵門に瓦葺 かわらぶき の屋根がついている。

44 錦城山 きんじょうざん には、南北朝時代 なんぼくちようじだい から元和元年までの間、数度に亘って大聖寺城が築かれてきたが、この大聖寺城が歴史に登場するのは、南北朝時代の () が初見である。
① へいけものがたり 平家物語 ② たいへいき 太平記 ③ やまぐちき 山口記 ④ げんぺいせいすいき 源平盛衰記

正解は②です。【正解率 74.9%】 学習帳 I (歴史編) 26 頁

大聖寺西端の錦城山には、南北朝時代から元和元年 (1615) まで数度に亘って大聖寺城 (津葉城を含む) が設置されてきた。大聖寺城が歴史に登場するのは、南北朝時代の『太平記』が初見である。その後、一向一揆勢の

土豪、織田信長の家臣、羽柴秀吉の陪臣・溝口秀勝、小早川秀秋の家老・山口宗永、加賀藩主2代前田利長の家臣（大聖寺城代）などの武将が統治しました。大聖寺城跡は、織豊時代の城郭を知る貴重なものとなっています。

- 45 大聖寺藩祖と菅原道真を祀る（ ）には、藩祖利治の父である加賀藩主3代前田利常から与えられたとされる能面3面と能装束3領が所蔵されている。
- ①菅生石部神社 ②加賀神明宮 ③江沼神社 ④愛宕神社

正解は③です。【正解率 38.6%】 学習帳Ⅱ（指定文化財編）48頁

大聖寺藩祖前田利治と菅原道真を祀る江沼神社には、加賀市指定文化財の「能面能装束」（6点）があります。能装束3領は藩祖利治が父である加賀藩主3代前田利常から与えられたものと伝えられています。これは明治6年（1873）に大聖寺藩主14代前田利豊によって奉納されたと伝えられています。なお、能面3面は、前年に大聖寺藩前田家と旧藩士によって奉納されたものです。

- 46 明治4年11月、新たに誕生したばかりの大聖寺県で農民一揆が起こった。この一揆は、集まった農民の姿から（ ）一揆と呼ばれている。
- ①ミノムシ ②ジンガサ ③サックリ ④イノシシ

正解は①です。【正解率 85.0%】 学習帳Ⅰ（歴史編）51頁

明治4年11月、大聖寺藩が打ち出した増税策に反対し農民一揆が起こりました。一揆に参加した農民たちは胴ミノを着て集合し、その姿が蓑虫に似ていたために「みの虫一揆」と呼ばれています。なお、江戸時代、各地で起きた百姓一揆も同様に「みの虫騒動」とか「みの虫一揆」と呼ばれているものもあり、特定の一揆を指す名称ではありません。

- 47 昭和初年から戦後にかけて大聖寺で大量に生産された（ ）は、真っ白で肌触りがよく、全国的にも高い評価を得て、海外にまで輸出された。
- ①つむぎ ②友禅 ③羽二重 ④ちじみ

正解は③です。【正解率 63.3%】 学習帳Ⅰ（歴史編）53頁

明治期以降、大聖寺町では織物業が盛んに行われ、大正期から昭和期においては江沼郡内における最も重要な工業製品となっていました。なかでも、真っ白で肌ざわりのよい羽二重は人気があり、「大聖寺羽二重」の名前で海外にまで輸出されました。

- 48 当地出身の政治家でこれまでに大臣となった人は、厚生大臣を務めた竹田儀一と農林大臣を務めた（ ）の2人だけである。
- ①坂田英一 ②岩原謙三 ③梅田五月 ④瓜生外吉

正解は①です。【正解率 58.0%】 学習帳Ⅰ（歴史編）61頁

大聖寺町出身の衆議院議員竹田儀一は、昭和22年（1947）片山哲内閣のもとで国務大臣に、また、翌23年芦田均内閣のもとで厚生大臣を務めました。一方、三木村出身の衆議院議員坂田英一は、昭和40年（1965）佐藤栄作内閣のもとで農林大臣を務めました。

- 49 昭和17年、それまでの温電に代わって、北陸鉄道（ ）が昭和40年代まで加賀温泉郷を結ぶ交通体系の中心となった。
- ①南加賀線 ②大聖寺線 ③江沼線 ④加南線

正解は④です。【正解率 31.9%】 学習帳 I (歴史編) 63 頁

大正元年 (1912) から30 年間にわたって親しまれてきた「温電」は昭和17 年 (1942) に北陸鉄道株式会社に吸収合併され、その後「北陸鉄道加南線」として加賀温泉郷を結ぶ観光客の足として活躍しました。なお、加南線は、昭和46 年 (1971) 7 月、山代・山中線の廃止をもって姿を消しました。

50 昭和33 年1 月、江沼郡10 町村のうち、() を除く9ヶ町村が合併し、加賀市 (旧) が誕生した。 ①動橋 ②山代 ③山中 ④片山津

正解は③です。【正解率 66.0%】 学習帳 I (歴史編) 64 頁

昭和31年、山中町を除く9 町村の代表で「加賀市建設委員会」が組織されました。山中町に対しては、知事勧告や内閣総理大臣による合併勧告も発せられましたが、ついに同意が得られず、昭和33年 (1958) 1 月、山中町を除く9 町村が合併し「加賀市」 (旧) が誕生しました。なお、平成17年には旧の加賀市と山中町が合併し、およそ47 年振りに旧江沼郡10ヶ町村がひとつになりました。

51 明治期、江沼郡では、伊万里焼いまりやきの写しを大量に生産した。この焼き物は仕上がりが良く、() 伊万里と呼ばれ、海外では大変人気があった。 ①加賀 ②江沼 ③大聖寺 ④山代

正解は③です。【正解率 16.9%】 学習帳 I (歴史編) 53 頁

明治期、大聖寺の貿易商などが中心となって、盛んに九谷焼や山中漆器が海外に輸出されました。特に、大聖寺の陶磁器職人の間で、江戸時代の伊万里焼の写しを大量に生産しました。この写しは、仕上がりが大変良く「大聖寺伊万里」と呼ばれて、海外でも高い人気がありました。

52 加賀市の機械産業の隆盛は、明治36 年、初代新家熊吉あらいえくまきちが創業した「新家商会」あらやが自転車部品の () を製造したことがきっかけだといわれている。 ①サドル ②タイヤ ③リム ④ペダル

正解は③です。【正解率 78.7%】 学習帳 I (歴史編) 54 頁

山中漆器の木地挽き職人の家に生まれた初代新家熊吉は、明治32 年、漆器を輸出するために出張したロシアで見かけた自転車の車輪 (リム) に強い関心を持ちました。それはリムが木製であったため、漆器製造の技術を応用してリムづくりができると確信したからでした。

53 加賀市には江戸時代から、酒づくりをおこなってきた蔵元くらもとが3つあるが、このうち、八日市町の鹿野酒造の酒は () の商品名で知られている。 ①獅子の里しし ②大日盛だいにちさかり ③常きげんじょう ④菊姫きくひめ

正解は③です。【正解率 42.0%】 学習帳 III (産業編) 16 頁

加賀市八日市町の「鹿野酒造」は文政2 年 (1819) に創業されたといえます。その代表的な商品「常きげん」は、4 代当主が、ある年の大豊作を農民たちと祝う席で詠んだ歌「八重菊や酒もほどよし常きげん」から生まれたと伝えています。ちなみに、動橋町の橋本酒造は「大日盛」、山中温泉の松浦酒造は「獅子の里」のお酒がよく知られています。

54 JA加賀の（ ）を原料とした焼酎しょうちゅうの商品化は、農業の6次産業化として注目されている。
①さつまいも ②やまいも ③かぼちゃ ④じゃがいも

正解は③です。【正解率 81.6%】 学習帳Ⅲ（産業編）20頁

JA加賀では、平成24年（2012）より、「味平かぼちゃ」を原料とした焼酎の商品化し販売しています。このかぼちゃ焼酎は、当市における農業の6次産業化による新たな商品づくりとして注目されています。また、近年は、かぼちゃを使ったレトルトカレーや飴なども商品化するなど、味平かぼちゃの売り出しに力を入れています。

55 加賀市では、2013年から毎年、一定のコースを限られた時間内で何周出来るかを競う（ ）と称する自転車耐久レースが、開かれている。
①温泉ライダー ②サイクルライダー ③チェーンライダー ④かがやきライダー

正解は①です。【正解率 83.6%】 学習帳Ⅲ（産業編）20頁

温泉ライダーは、個人またはチームで、周回コースを規定時間内で何周できるかを競う自転車耐久レースです。「加賀まれびと協議会」が提唱し平成24年から毎年5月頃に行われています。近年では、山中温泉立杉峠を登るヒルクライム競技やキッズバイクの競技種目も行われ、年々人気が高まっています。

専門テーマ「鴨」

56 片野鴨池の「大池」の面積めんせきは、通常は1.5ha程度の小さな池であるが、冬場は水張りをすることで、最大約（ ）の池となる。
①1.8ha ②5.2ha ③10ha ④22ha

正解は③です。【正解率 54.6%】 学習帳Ⅱ（自然編）15頁

鴨池は、秋の稲刈りが終わると、水門を閉じて水位を上げて、夏期の間は約1.5ha程度の小さな池が、冬期間は約10haの水面をもつ池となります。水張り後の水深は約50cmとなり、ガンやカモたちが生息しやすい環境となります。

57 冬場、片野鴨池には数多くの渡り鳥が飛来してくるが、特に絶滅危惧種ぜつめつ き ぐ し ゅとなっている（ ）の国内最大の飛来地となっている。
①マガン ②トモエガモ ③ヒシクイ ④ハクチョウ

正解は②です。【正解率 88.4%】 学習帳Ⅱ（自然編）15頁

市内の湖沼には、冬季にカモ類が多く飛来してきます。特に片野鴨池には天然記念物のマガン・ヒシクイ・トモエガモなどが飛来し、水鳥の重要な生息地として、平成5年（1993）にラムサール条約の登録湿地となりました。また、絶滅危惧種のトモエガモの国内最大の飛来地となっています。

58 片野鴨池では、江戸時代からV字形の^{わく}枠に張り付けた網を空中高く放り投げる（ ）^{あみ}猟と呼ばれる伝統^{あみ}猟が行われてきた。
 ①^{そらあみ}空網 ②^{うちあみ}打網 ③^{さかあみ}坂網 ④^{つきあみ}突網

正解は③です。【正解率 96.1%】 学習帳Ⅱ（指定文化財編）44 頁

坂網^{あみ}猟は石川県民俗文化財に指定された伝統^{あみ}猟法で、片野鴨池周辺の丘陵地を低く飛び越える鴨を、坂網と呼ばれるY字形の網を投げ上げて捕らえます。坂網^{あみ}猟が始まったのは今から約300年前の江戸時代の元禄年間と伝えられ、大聖寺藩主が武士の心身の鍛錬として坂網^{あみ}猟を奨励したことから多くの藩士がこの坂網^{あみ}猟を行っていたようです。

59 昭和24年、当時の^{ほこう}捕鴨組合長であった（ ）は、^{れんごうこくぐん}東京のGHQ（連合国軍^{れんごうこくぐん}総司令部^{そうしれいぶ}）に乗り込んで、銃の使用をやめるよう^{ちんじょう}陳情した。
 ①^{なかむらとしのぶ}中村肇伸 ②^{いけたとよたか}池田豊孝 ③^{むらたやすたろう}村田安太郎 ④^{うめださつき}梅田五月

正解は③です。【正解率 79.2%】 学習帳Ⅰ（歴史編）61 頁

戦後、日本を占領統治していたアメリカの軍人たちが片野鴨池にやってきて、^{あみ}銃による鴨^{あみ}猟を始めました。アメリカ軍の命令は戦前の天皇の命令と等しいと言われていたこの時代、^{れんごうこくぐん}東京丸の内のGHQ本部に乗り込み、鴨^{あみ}猟を中止するよう直訴したのが、当時、江沼郡捕鴨組合の組合長だった村田安太郎でした。

60 片野鴨池は、昭和46年に（ ）^{せいそくち}条約に基づく、水鳥の^{せいそくち}生息地として特に重要な^{しっち}湿地^{とうろく}として登録された。
 ①サンフランシスコ ②ポツダム ③ワシントン ④ラムサール

正解は④です。【正解率 88.9%】 学習帳Ⅱ（指定文化財編）44 頁

昭和46年（1971）イラン北部の人口約32,000人の都市であるラムサールにおいて、「特に水鳥の^{せいそくち}生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」が調印されました。この条約が一般に「ラムサール条約」と呼ばれています。日本国内には、この条約で登録された湿地は、片野鴨池を含めて、2016年現在で50カ所となっています。